

CONTENTS

大阪消防 7

表紙：ブーム付き多目的消防車
(LT21)

01：コンテンツ／災害概況	22：We are Rookies！
02：2025年 大阪・関西万博 ～未来社会の消防活動を最適なものへ～	24：大阪の消防NEWS
04：【特集】違反対象物管理アプリ - 前編 -	26：第44回危険業務従事者叙勲
06：【職務】第72回 消防職員意見発表会	28：教えて〇〇課！
08：ケイボウタイムズ	30：落語DE火の用心
10：コマンドアイ	31：住宅用火災警報器で歌おう
12：明日に備えて過去に学ぶ	32：大阪市消防局災害活動支援隊団体表彰／ 救急安心センターおおさかだより
13：人材育成のヒント	33：自衛消防隊紹介／女性防火クラブだより
14：ソナエの教室	34：熱中症対策が義務化されました!!
15：No more！事故	36：【職務】火薬類の無許可消費について
16：救急いろは	38：現場に活かす！救急救命士国家試験問題
18：共に学び共に成長	39：消防漢字ガール
20：実録!! 調査鑑識	40：アニマル環状線／編集後記

大阪市の災害概況

◎火災概況

	建物火災				小計	車両	船舶	爆発	その他	合計
	全焼	半焼	部分焼	ぼや						
5月中件数	2	1	13	30	46	2	0	0	9	57
令和7年 5月末累計	12	8	79	172	271	12	0	0	39	322
令和6年 5月末累計	4	10	80	154	248	19	0	2	33	302
累計比較	8	▲2	▲1	18	23	▲7	0	▲2	6	20

◎救急概況

	救急出場
5月中件数 (概数)	20,237
令和7年 5月末累計	107,624
令和6年 5月末累計	107,950
累計比較	-326

◎火災・救急以外の消防活動概況

	救助活動	危害排除	水防活動	その他
令和7年 5月末累計	1,847	536	0	536
令和6年 5月末累計	1,841	509	0	459
累計比較	6	27	0	77

いっしょに、いこな！ \2025年 大阪・関西万博／ ～ 未来社会の消防活動を最適なものへ～

EV指揮車（指揮支援システム）

概要

大阪市消防局と協定を結んだモリタHDが考案した「AIを用いた高度現場指揮支援システム」であり、火災現場のあらゆる情報を集約・整理・可視化する。

車両諸元（艤装後確定値）

ベースシャーシは「EVモーターズ・ジャパン」の「E1」。
全長5450mm、全幅1900mm、全高2930mm、
車重3480kg、走行可能距離は220km。
普通免許で運転可能。



この指揮支援システムは、予防業務で得た建物・災害現場周辺の情報や、隊員・車両・要救助者情報に加えて、救助した傷病者のトリアージ情報も管理・表示できます。大阪・関西万博の期間中に指揮支援システムの実証を通じて、収集した現場情報の連携や、隊員の安全管理方法、AI判断支援の精度向上などについて検証する予定です。

EV指揮車内オペレーションルーム

EV指揮車内のオペレーター席（左写真）は、収集された情報の管理や整理を行い、迅速に情報入力支援も行えるよう、大型ディスプレイを3面備えています。

こちらのディスプレイではDX指揮卓に表示される情報と同じデータを確認しながら情報の入力・更新の作業をすることができます。

DX指揮卓について

55インチの大型ディスプレイを備えており、水平から45度まで傾斜が可能。移動はリモコン操作のほか、中隊長に自動追尾させることもできます。



DX指揮卓に表示される災害現場の情報

- ・火災建物内に進入した隊員のウェアラブル装置から得られる情報
（人数、位置、心拍数、体温、活動履歴、ボンベ残量等）
- ・現場で活動中の車両の情報
（部署位置、水槽搭載車両の残水量等）
- ・予防業務で把握している建物の情報
（間取り、階数等）
- ・災害現場周辺の地理情報
- ・要救助者の情報
（推測される位置、トリアージ状況等）
- ・車両、隊員が装備しているカメラからの情報

おわりに

未来型資器材はいかがでしたか？ 万博消防センターでは、これからも未来の消防に向けて検証に取り組んでいきます！
次号では、5月に行われたイベント、「大阪ウィークス春」についてご紹介します。
なんと！刑事ドラマで有名なあのお方が登場します！ 8月号もお楽しみに。

いっしょに、いこな！ \2025年 大阪・関西万博／ ～ 未来社会の消防活動を最適なものへ～



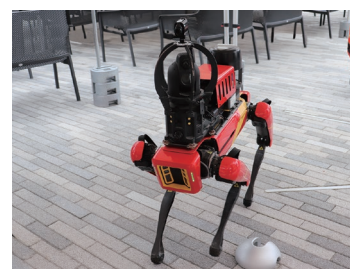
未来型資器材の検証についてのWEB会議の様子

皆さんこんにちは！うだるような暑さが続いています。くれぐれも熱中症に気を付けてください！
7月号では、大阪・関西万博消防センター（以下、「万博消防センター」という。）での取組の一つである「未来型資器材」についてご紹介します。
大阪・関西万博といえば「未来社会」がキーワードですね。そこで万博消防センターでも、未来社会における最適な消防活動の実現を目指して、株式会社モリタホールディングスとともに日々検証に取り組んでいます。
未来型資器材は様々な種類のものがあるため、すべてを説明することは難しいですが、その一端を知っていただくことで少しでも未来社会における消防活動のイメージを持ていただければと思います。

これが未来の消防だ！！

未来型資器材

カメラ搭載の探索ロボット



カメラ搭載の大型探索ロボット。建物内部へ進入し、より災害点に近い映像を撮影することができる。階段の昇降が可能。

DX隊員装具



隊員に装着。装具に搭載のカメラ機能により、隊員の活動状況が映像を通してリアルタイムで把握できるため、隊員の活動状況の管理が可能。

未来型外套



冷却機能・軽量の向上を視野に将来、消防隊員が、より安全で効率的な活動を行うことを目的に試験的に導入している。

EV巡回車



電動の小型モビリティ。広大な会場内の予防巡回業務に使用。360度カメラ搭載。災害時にはカメラ映像をDX指揮卓に配信。

トリアージシステム



現在はアナログで実施しているトリアージ記入をアプリへ音声入力することで、傷病者情報等を一括管理する。

シグナルクロス

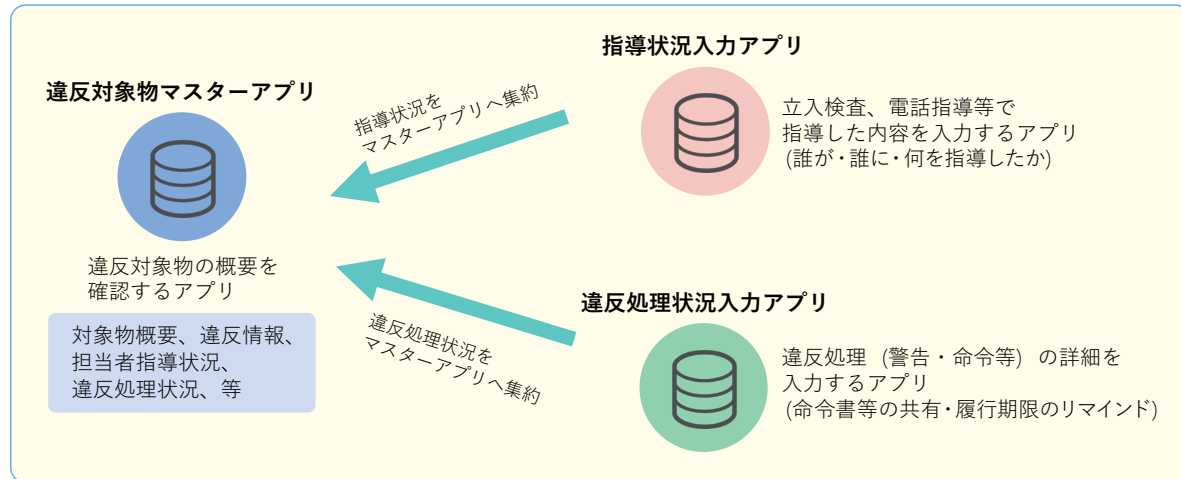


隊員のバイタルを管理。心拍等に変化があれば指揮本部DX指揮卓で随時確認できる。

(2) アプリの構成について

本アプリは、違反対象物マスターアプリ、指導状況入力アプリ及び違反処理状況入力アプリの3つのアプリで構成しています。

「指導状況入力アプリ」や「違反処理状況入力アプリ」で入力された内容は、「違反対象物マスターアプリ」に集約されるため、違反の概要や進捗状況だけでなく、過去の指導状況や違反処理状況も「違反対象物マスターアプリ」を見ることで理解することができます。



(3) 違反対象物マスターアプリについて

「違反対象物マスターアプリ」には、一覧画面と個別画面があります。一覧画面では違反状況などを消防署ごとに表示しているため、現在の違反対象物の件数や消防用設備別の不備状況を確認することができます。

	検査対象物番号番	検査対象物番号番	名称漢字	所在地	連携区分	連携ステージ	連携ステージ移行日	連携ステージ経過日数
北					特宣連携対象物	見積中	2024-10-01	152 日
北					特宣連携対象物	見積中	2024-11-19	103 日
北					特宣連携対象物	設置検査待ち	2025-02-20	10 日
北					必要に応じて特宣連携対象物	見積完了		
北					必要に応じて特宣連携対象物			
北					特宣連携対象物	見積中	2024-11-15	107 日

表示できる対象物の一覧には、様々な違反状況のリストや公表日に関するカレンダー等がありますので、切り替えて活用してください。

個別画面では、違反対象物の詳しい内容を確認することができます。

画面は「違反情報」タブが選択された状態で、対象物の詳細情報を表示しています。上部には「対象物情報（入力必須）」と「違反情報」のタブがあり、「違反情報」が選択されています。その下には「公表（周知担当者入力）」と「担当者」の項目があります。さらに「検査対象物番号番」「検査対象物番号番」「名称漢字」の項目があります。右側には「タブを切り替えるとそれぞれの内容が表示」という説明があります。下部には「屋内消火栓」「スプリンクラー」「自火報」「その他違反（連携項目以外）」の項目があり、それぞれに値が入力されています。また、「違反概要」「違反通知日」「違反通知から経過日数」「連携区分」などの項目も表示されています。

3. さいごに

今回は、違反対象物の是正指導を効率的に管理するアプリの概要等について説明しました。本アプリには、違反対象物の是正指導に活用できる様々な機能や活用方法があります。次回（8月号）は、実際の活用について、説明していきます。

VOMA

違反対象物管理アプリ

(Violated Object Management App of the Fire Service Act)

— 前 編 —

1. はじめに

大阪市消防局では平成20年大阪市浪速区で発生した個室ビデオ店火災を契機として、人命に危険のある対象物や悪質な消防法違反のある対象物に対する違反処理等を推進する目的で、特別査察隊を予防部に設置し、違反の是正を進めてきました。

特に、屋内消火栓設備、スプリンクラー設備及び自動火災報知設備の3設備に重大な不備欠陥事項がある対象物等は、消防署と特別査察隊が連携し早期に是正を進める必要があります。

従来、特別査察隊ではこういった違反対象物の是正の進捗状況を管理するために、消防署の予防担当からは是正状況の聞き取りを電話等で行い、その内容を都度Excelに入力して進捗状況を管理していました。しかし、この方法では、以下のような課題がありました。

- ① 情報共有のための特別査察隊と予防担当との電話等でのやり取りが複数回に及ぶ。
- ② 予防担当が是正指導した内容を特別査察隊が聞き取り、聞き取った内容が入力されるため、誤った内容が入力されるリスクがある。
- ③ 特別査察隊で管理している内容を消防署から確認できない。

これらの課題を解決し、消防法違反のある対象物の指導を効率的に管理し、早期に是正を進めるため、違反対象物管理アプリ（「VOMA」=Violated Object Management App of the Fire Service Act 以下「アプリ」という。）を開発しました。

このコーナーでは、本アプリの内容を7月号（前編）と8月号（後編）に分けて、紹介していきます。

2. アプリの概要

(1) kintoneについて

本アプリは、ノーコード開発プラットフォーム「kintone」を活用し、特別査察隊により開発されたアプリです。kintoneを活用することで、クラウド上で違反対象物を管理することができ、消防署の予防担当と特別査察隊が同じ内容を共有できるようになりました。

Excelとアプリでは次のような管理上の違いがあります。

Excelを活用した管理	アプリを活用した管理
特別査察隊内でのみ共有	特別査察隊と消防署で共有
ファイルを開くことができるのは一人のみ	複数人で同時に使用できる
表形式での整理	違反対象物の管理に特化した見やすいレイアウト
是正指導の内容を電話でやり取り	アプリのコメント機能によるやり取り

施するのはどうでしょうか。すべてを新しくする必要はありません。いま、大阪市消防局で実施されている各試験の項目を点数化し、それを評価材料とするのです。そうすると不合格であった場合でも、その点数を基に評価することが可能となります。なにより、今まで不合格であった場合に消えてしまっていた「試験に挑戦した」という事実を明らかにすることができます。挑戦が評価される環境の中でこそ、職員たちは互いに競い合い、高め合うことができます。

「失敗すること」「結果が得られないこと」が悪いわけではありません。組織として失敗や変化を恐れ挑戦しないことが問題なのです。もし挑戦の結果が失敗であった時、周囲が否定や批難をするようでは、組織は成長しないでしょう。だからこそ結果に関わらず、挑戦という勇氣ある一步を踏み出した者がいたときは、皆さんの経験や知識からアドバイスし、支えて頂きたいのです。

そんな「一步を支える組織」を共に目指しましょう！ご清聴ありがとうございました。

長谷川消防士にインタビュー！

Q1 今回の意見発表会に出場するにあたり、なぜこのテーマにしようと思いましたか？

A1 組織の課題を考えたときまず出てきたのは、離職者数の多さでした。その原因を知りたいと感じた際にアンケートを通して実際の声を聞き、この声を組織として認知し対応していくことが重要だと感じたからです。

Q2 論旨や表現方法など、今回の発表で工夫した点を教えてください。

A2 論旨については、自身の伝えたいことを一度文章にしたのち、上司の方々に聞いていただき、言い回しやより伝わりやすい形に添削いただきました。表現方法については「ゆっくり」「はっきり」を意識しました。

Q3 職員へのアンケートはどのようにして実施したのでしょうか？

A3 自所属において階級等を問わず無作為に選び、作成したアンケート用紙をメールにて送り回答を頂きました。階級や年代を問わず聞くことで、組織内における各層の考えを掴むことができました。

Q4 ミスを避けるため挑戦しなくなっていると気づいてからも、時には教官から叱られることもあったかと思いますが、その際は、どのような気持ちや行動を心がけましたか？

A4 挑戦しなくなっていると感じ改善に努めたあと、指導を受ける機会はとても多くなりました。しかし、それは悪くなったのではなく、行動にともなったものであると喜ぶようになりました。だからこそ小隊に周知する際は、こういった取り組みは良かった、と前置きをした上で、今回の注意点はこのポイントを抑えるのが抜けていたと伝えるようにしました。なにより、挑戦を否定することがないように心がけました。

Q5 最優秀賞を受賞されて一言お願いします。

A5 この場を借りてご協力いただきました皆様にお礼を申し上げたいと思います。今回、最優秀という結果を得ることができたことに対するお礼は当然のことながら、こういった発表の場を経験できたことは大きな財産であり、今後の勤務にも活かせるものだと思っています。このような経験をさせていただき、本当にありがとうございました。

第72回 消防職員意見発表会

令和7年2月13日、西消防署講堂において第72回消防職員意見発表会が開催されました。ここでは、最優秀賞を受賞した、長谷川義希 消防士（北消防署予防担当）の発表内容をご紹介します。

最優秀賞

一步を支える組織



北消防署 予防担当 長谷川 義希



「失敗すると怒られる」。この言葉は、私がいま大阪市消防局で働く人たちに取ったアンケートの一部です。この言葉を受け、もう一度職場環境について考えてみませんか？

私たちの職場では、失敗をした際にその責任の所在を追及する、といった場面が時折見られます。当然、人命救助などミスの許されない仕事

だからこそ、追及し反省を促し、ミスを繰り返さないようにする必要があるもの分かります。

しかし、本当に大切なのは「失敗しないこと」ではなく、失敗をカバーする体制の確立と、失敗を恐れずに挑戦できる組織づくりだと考えます。失敗を受け止め次の一步を踏み出すことが、職員一人ひとり、そして組織全体の成長につながるのではないのでしょうか。

私は以前、京都府警察本部に勤めていました。警察学校では小隊長を任されていたのですが、ある日教官から「お前の隊には一切の成長がない」と言われたのです。周囲に相談し理由を考えたところ、私の中の「ミスをしなければいい」という意識が問題であったと気づきました。その考えにより、知らない間に隊員は失敗し怒られることを恐れ、ミスを避けるため挑戦しなくなり、結果として成長のない隊になっていたのです。

それに気づいてからは、隊員には挑戦することを促し、ミスをしても怒るのではなく「次はどう活かすか」「何が足りなかったのか」をともに考えるようにしました。その結果、卒業する際には同じ教官から「お前の隊が一番大きくなってくれた」と言われ、ミスを恐れず挑戦することが間違いでなかったと感ずることができました。

こうした経験を基に、大阪市消防局が「一步を支える組織」となるための提案を一つします。それは「挑戦を評価する制度の創設」です。結果に関わらず、挑戦そのものを評価する制度をつくります。

現在、消防局では、消火隊員や救助隊員の技術認定試験があります。これは合否により能力を判断するものですが、これでは不合格の場合、挑戦したにも関わらず評価を得ることができません。一方、社会全体では、例えば、英語能力を判定するTOEICやTOEFLという、合否ではなく得点・スコアによって能力を判定する試験があります。こういったスコア方式の試験を消防局において実

ケイボウタイムズ

～警防課の「いま」を伝える～

第15回 新消防情報システム署所設備機能の 主な変更点

警防課〈情報システム〉

災害現場での活動を支える「警防部 警防課」。
「ケイボウタイムズ」では、毎号、警防課の各担当による「この時期だから伝えたい」旬なネタを掲載するほか、警防課が取り組む施策や事業についてお伝えします。

はじめに

令和7年4月1日の消防情報システム更新に伴い、署所設備に新たな設備や機能が追加されました。
以前より署所設備として設置されている主な構成機器は、端末制御装置、タッチパネルディスプレイ、指令電話、マイク、指令書プリンター、表示型受令表示装置、音声スピーカー、表示型受令表示装置、音声スピーカー、トーンスピーカーとなり、それら各機器の一部機能を更新しています。これに加えて、出張所には出場報告器、駆付電話機、留守番電話機が設置されています。

■タッチパネルディスプレイ

【主な変更点】

- 毎朝9時に「指揮者設定注意喚起」メッセージが表示される。
- ディスプレイ右上のメッセージ表示部が3件から5件表示可能となる。
- 救急救命士の資格項目で「救命士」「拡大」「挿管」を選択できる。
- 常備車・予備車設定可能となる。※大規模災害モード時のみ
- 夜間設定(22時～翌6時)が自動で設定される。
- 指令電話の録音が6件から10件(1件10分以内)まで増え、選択しての再生が可能に。
- 女性待機室の指令設定はディスプレイで設定及び状態確認ができる。
(旧システム撤去工事が完了した署から順次使用可能)



各機器の変更点及び
使用上の注意点

新たに追加された設備や機能について、
主な変更点や使用上の注意点をまとめます。

■表示型受令表示装置

SC 016	待機		
CC 003	待機	A 012	機械
DC 016	待機	A 014	他
DC 012	待機		
CC 007	待機	ASR010	外他
CC 005	待機		
SC 017	待機	増強隊	
SC 028	待機	その他	

【主な変更点】

- 署着、移着、緊着及び常備予備車(増強救急等)に対する指令も表示される。
- 指令時、車両ごとに違った背景色(白、赤、オレンジ)が表示される。
- 車両の詳細動態が表示される。(待機、災出、病引等)
- 警報、注意報等指令台から設定したテロップ情報が表示される。

■指令電話

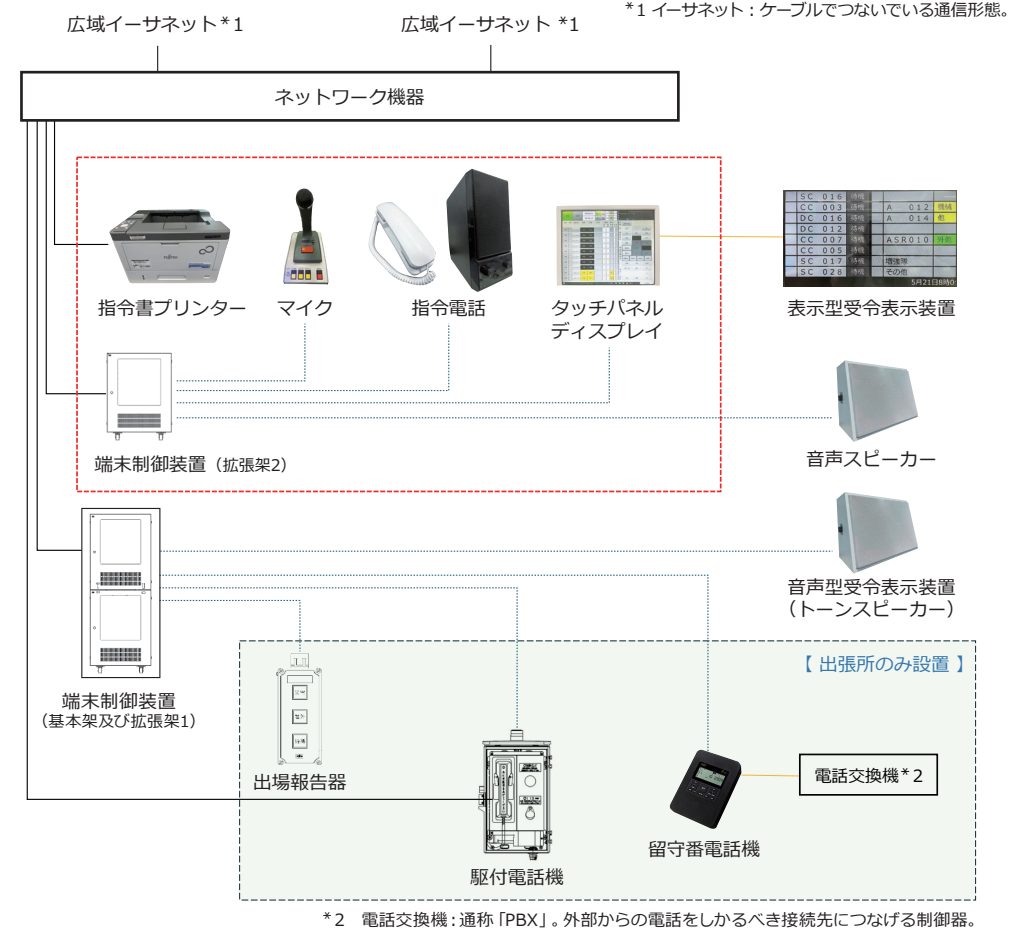


【主な変更点】

- 受話器とスピーカーが別々に構成されており、狭いスペースでも設置しやすい。

【使用上の注意点】

- 各機器がコンパクトになっており、移動させることも可能だが、配線の離脱等が生じる恐れがあるため、設置場所を変えないようにする。
- 通信運用第3体制時には使用できない。

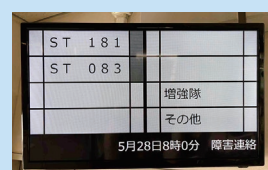


新消防情報システム署所設備の全体像

■出張所設備

【主な変更点】

- 車載端末装置や受令端末装置で災害や署外等に車両動態を変更すれば、署所設備が連動し、全出設定となる。
- 全出設定となる車両動態は、災害、署外その他、新たに不能が加わった。
- 全出設定が解除される動態は待機のみとなる。
- 全出設定となった場合、「全出設定中」と表示される。



おわりに

消防情報システム更新に伴う署所設備の主な変更点を説明しました。細かな変更点については、各署にお配りしているマニュアルや、「消防情報システム操作マニュアル」(業務用端末や車載端末又は受令端末で閲覧できる文書保管システム「GLOVIA」の「文書ツリー」内に保管)をお読み下さい。